

## 第3回水道料金等審議会 会議録

- 会議の名称：第3回甲府市水道料金等審議会
- 開催日時：令和5年7月5日（水）午後1時00分～午後5時00分
- 開催場所：平瀬浄水場、甲府市浄化センター
- 出席委員：風間ふたば委員、塩谷知則委員、相川正美委員、  
根津佳明委員、中込敏雄委員、矢島静枝委員  
志田昌子委員、雨宮登美子委員、花田智委員  
田中好久委員、藤森一浩委員、伊藤友里委員、河野昭三委員
- 欠席委員：落合圭子委員、野村千佳子委員、石平博委員、五領田周司委員
- 傍聴者数：0名
- 次第

- 1 開会
- 2 報告事項
- 3 議事
  - (1) 平瀬浄水場の視察
  - (2) 甲府市浄化センターの視察
  - (3) その他
- 4 事務連絡
- 5 閉会

### ■ 審議内容

【会長】 次第の3「議事」に入ります。

本日は、視察ということで先ほど浄水場の処理施設を見学したところですが、事務局からの説明をお願いします。

《事務局説明：浄水場について》

### 【会長】

この審議会では次期の料金について最終的に答申を出さなければならないわけですが、今日は施設をしっかりと見学する中でどういうところに動力、エネルギー、そしてお金がかかっているのか、そういうところもしっかり見ていただき

ながら今後の水道料金等の評価をしていただくことになろうかと思えます。

ご説明をいただきましたが、何かわからないところがありましたら質問していただければと思いますが、いかがでしょうか。

私からですけれども、平瀬浄水場は浄化能力が一日当たり 126,400 トンの処理能力があるのですが、71,000 トン約 6、7 割が実際に給水されています。これは人口減少等でじわじわ下がっているのか、余裕のある能力として当初より整備しているのか教えていただきたいのですけれども。

#### 【事務局】

当初の 126,400 トンという能力は、給水人口が増加していくと想定して計算したもので、現状給水人口は減少してきていますので給水量も減ってきています。天気等で変動はありますが、状況としては徐々に減ってきています。

#### 【事務局】

補足ですが、昨年度の実績では 90,000 トンに近づく日もありました。年末年始の家庭にいる時間が長い時や雨の続いた後の洗濯などで給水量が増える場合もあります。

#### 【委員】

2 点ほどお聞かせください。昭和浄水場は地下水ということですが、枯渇することは無いということで安心しているところではありますが、最近、リニアの問題で水は静岡のものだ、山梨のものだとか話題になっています。環状道路の工事の影響で友人の井戸が枯れたということもありました。地下水脈は解らないこともありますが、大丈夫ということを確認させていただきたいと思えます。

もう 1 点は、火事の際には消火栓を使用します。飲み水を使用するのはもったいないという思いもあるのですが、水道料金等に影響もあるのかと思うのですが実情を教えていただきたいと思えます。

#### 【事務局】

昭和の井戸は現状 16 本あります。昨日の時点で 15,000 トンを給水していますが、1 本あたり約 3,000 トンは取水できますので問題はないと考えています。

消防用水についても、別配管は金額的にも難しいこともありますし、水量的にも余裕があるので大丈夫だと思います。

**【委員】**

ちなみにですが、火事の後で上下水道局から消防署に請求書が送られるということはないのでしょうか。

**【事務局】**

ございません。

補足をさせていただきますと、消防に使われる水量は全体の水量の 0.006% という状況です。消防水利の計画では、ため池の水や川の水も利用しますが、それでも不足する分は消火栓の水を使うことになっています。

**【会長】**

一般的には一人一日給水量は 2500/Day だったと記憶しているのですが、甲府ではどのくらいの量ですか。

**【事務局】**

令和 4 年度に関しますと 3040 となっています。

**【会長】**

全国平均よりはちょっと多いかなと思います。結構、普段の生活で水道の水を使っているなあと感じます。

**【委員】**

リスクマネジメントの点から耐震化を進められていると思いますが、平瀬浄水場では土砂災害は想定されるのでしょうか。

**【事務局】**

土砂災害は想定していません。施設や建物に問題はないと考えております。

**【委員】**

工場などの企業でも大量に水を使っていると思いますが、家庭で使用する量と企業で大量に使用する量の状況を教えてもらえますか。また、災害があった時は、企業への使用制限等の要請はありますか。

**【事務局】**

大きい工場では自前で井戸を掘って地下水を使っているところが多いので、大量に水を送っているということはありませんので心配はないと思います。

**【事務局】**

令和3年度では、大口使用者の割合は全体の4.7%程度となっています。一般家庭や企業にかかわらず給水の義務が法令上課せられていますので要請は難しいと思われます。

**【会長】**

水道料金は口径によって大量に使うところは料金が高く設定してありますので、企業等は自分の土地で水が出るのであれば、高い水道料金を払わずに井戸を掘り自前で用意するところが増えているようです。

それから、先ほどの話で、橋梁を造ったら井戸が枯れたというお話ですが、地下水の水位が浅井戸なのか深井戸なのかにもよると思います。昭和水源の取水井は90mの深さがあるので影響はないだろうと思います。

**【委員】**

職員の本音の部分を聞きたいのですが。使う方としては節水をして少しでも水道料金を安くしたいなと思うのですが、事業者としては、節水をしてもらいたいのか、たくさん使ってもらって収入を増やしたいのか聞かせていただきたいのですが。

**【事務局】**

私どもは公営企業ですので、モノを売って儲けるという企業ではございません。必要なものについては必要なだけ使っていただき、その収益で事業を後世に継承

していくということで事業を行っております。

**【会長】**

この大きな装置を動かすお金の方が段々上がっているところを、やり繰りしつつやっていたらという風に私は感じているところです。

それでは一旦、議事を終了しまして、次の浄化センターに向かいたいと思います。

《事務局説明：浄化センターについて》

**【会長】**

私からも補足させてもらってもよろしいですか。下水処理場では反応タンクというところに微生物がたくさんいて、汚れを分解して水をきれいにしてくれますが、働いてもらうためには酸素が必要になります。その酸素を送るのにもものすごい電気が必要になります。そして、微生物が増えることによってその処理の過程で汚泥が発生しますので、産業廃棄物としてそれも処理をしなければなりません。浄水も下水も水をきれいにするという処理では同じようなからくりがあるということです。

それでは、ご説明に対してご質問等ありましたら伺いたいと思います。

**【委員】**

下水道の普及率が98%まで進んでいますが、まだ普及していないのはどのあたりの地区になりますか。

**【事務局】**

下水道につきましては甲府市全体の下水道を計画する全体計画というものがありまして、その中で国の認可をいただいて事業を行える事業区域があり、粛々と整備を行っているところであります。市街化区域につきましてはほぼ整備が進んでおりまして、市街化調整区域や市街化区域の北部の一部がまだ整備をしている状況であります。

**【委員】**

上下水道事業は料金をもって、事業が成り立っていると思うのですが、耐震化等の大きな工事を実施する時には国の補助金がないと成り立たないのだと思います。この厳しい状況の中では、審議の中で料金を上げてくれという解釈でよろしいのでしょうか。

**【事務局】**

水道事業は、国からの補助金の要件が厳しく、原則的には水道料金で事業運営しています。下水道事業は、全国的には普及率が低いということから、国からの国庫補助があります。どちらの事業も経営的には利益を出していますが、施設更新の際にはこの利益を充てていく必要があります。

料金につきましては、今回は3年の算定期間で審議して、委員の方から客観的に料金についての評価をいただき、改定の必要性について審議して頂きます。

**【委員】**

上下水道事業は大きな設備を維持管理されているところではありますが、リスク管理としては、人口減少であるとか、自然災害への対策、施設の老朽化など課題も多いかと思われれます。向こう3年間においては最大のリスクはどのようなことを考えているのか教えてください。

**【事務局】**

最大のリスクとしては、老朽化を考えておりますが、施設を更新する場合には、併せて耐震化や浸水対策を同時に行っています。老朽化施設の更新には国からの補助も活用する中で実施しています。

**【委員】**

汚水管の更新ということで、本管でいうと耐震化率は何%くらいになりますか。

**【事務局】**

本市の汚水管きは、950kmあります。耐震化などもいっぺんに実施することもできませんので、優先順位付けを行い指定避難所などの重要な幹線から実施し、

令和4年度末で30.8%となっております。

**【委員】**

もう一点、浄化センターでは水をきれいにして笛吹川に放流していますが、水質の管理として平瀬浄水場のように魚による監視等を行っているのですか。

**【事務局】**

魚は飼っておりませんが、専門的な水質検査を常時行うことで管理をしています。

**【委員】**

貴重な時間を使って見学させていただいてありがとうございます。当たり前だと思っていた水が大変な労力を使って私たちに届いているのだなとつくづく感じました。ありがとうございました。

**【委員】**

平瀬浄水場では着水井が一番きれいに感じました。私たちが想像する以上の施設を運営維持していくのには、莫大なお金も掛かっているんだなと感じました。また、汚泥はセメントの材料になるとの説明でしたが、買ってもらっているのですか。

**【事務局】**

お金を出して処分しています。

**【委員】**

私は施設を見学するのは3回目になりますが、今回初めて詳しいお話を聞かせていただきました。説明を受け、皆さんの力がないと安心して水がいただけないのかなと感謝の気持ちです。この委員を受けるにあたりまして、料金をよく見てみましたが下水道と水道とでは料金が違うことや施設の管理に労力がかかっていることなど、私もそうですが多くの皆さんが知らないのではないかと思います。皆さんにも是非知っていただく必要があるのかなと感じています。

### 【委員】

下水道の普及率も 97%と高い状況になっている中で、接続の義務があると思うのですが接続の状況を教えていただきたいと思います。また、浄化センターの施設と浄化槽ではシステムの的に違いがあるのか教えてください。

### 【事務局】

システムの的には、浄化センターと合併処理浄化槽は同じと考えていただいてよろしいかと思います。まとめて処理をしているのか個別に処理をしているのかという違いとなります。

### 【事務局】

下水道の接続についてですが、基本的には整備が終わってから半年以内に接続をしてくださいとお願いしています。甲府市は空き家率も高く、高齢者世帯などでは接続工事をする資金がない、私の後に住む予定がないという場合もあり、毎月訪問をして接続のお願いをしているのですが、昨年度末で 2,500 件ほどが未接続の状況にあります。

### 【委員】

下水道の使用者としての質問をさせていただきます。使用者が油をそのまま流したりしてしまうと管が詰まったり、浄化するのに問題があるのではと思うのですが、使い方によって浄化処理に影響があるのか、また、私たちの使い方として何かできることがあるのであれば教えてもらいたいと思います。

### 【事務局】

薬品、油、消毒用アルコールなどは下水道に流さずに、布や紙で拭き取っていただいて少し乾かしてから可燃ごみに出していただくのが一番だと思います。

浄化センターの能力にはさほど影響はないのですが、各家庭の排水管では詰まったり、壊れてしまったりする影響がありますので、可燃ごみに出していただきたいと思います。

**【委員】**

浄化センターでは大量の電気を使用しているとのことですが、電気代の高騰による影響は令和3年同月と比べてどのくらい上がっているのか教えてください。

**【事務局】**

令和4年度で3億、令和3年で2億、令和2年で1億と年々上がっています。

**【委員】**

甲府市においても、まだ浄化槽を使用している家庭もあると思うのですが、発生した汚泥はどこで処理をしているのでしょうか。

**【事務局】**

甲府市では、以前は甲府市衛生センターがあったのですが、現在では各家庭が民間業者さんに依頼して、広域組合衛生センターで処理をしてもらうという形になっています。

**【会長】**

今日ご参加の委員の方には一言ずつ質問、感想等をいただきました。ありがとうございます。これで質疑応答を終了させていただいて、事務連絡とその他を共にしてしまっ、それから施設見学をお願いいたします。

《事務連絡》

《施設見学》

以 上